人が集まり、暮らし、つながるまちへ

柳ケ瀬の新たなランドマークついに完成！

3月4日、岐阜市の柳ケ瀬商店街の高島屋南地区に再開発ビル「柳ケ瀬グラッスル35」が構想から35年を経て、ついに完成しました。竣工式典には、古田 肇 岐阜県知事、柴橋正直 岐阜市長、村瀬幸雄 岐阜商工会議所会頭をはじめ、関係者133人が出席し、完成を祝いました。また、同ビルの南側に位置する「金公園」も同時にリニューアルオープンし、3月を通してキッチンカーの出店や音楽ライブ・マルシェなどのイベントが開催され、地域のにぎわい創出の場となっています。

人が集まり、暮らし、つながるまちへ
柳ケ瀬の新たなランドマークついに完成！ 柳ケ瀬グラッスル35 セントラルパーク「金公園」

にぎわいの空間

柳ケ瀬グラッスル35

■施設の概要

1階と2階にドラッグストア・飲食店・アパレル・金融機関などの商業テナント、3階に市の健康運動施設「ウゴクテ」、4階に市の子育て支援施設「ツナグテ」、5～35階に分譲マンション「ライオンズ岐阜プレミストタワー35」が入り、商業テナントは今後順次オープンしていきます。1階北東側の玄関口には、約500平方メートルの全天候型の広場空間「Gテラス」があり、様々なイベントに有料で利用できます。

再開発ビルの構想は1988年に始まり、柳ケ瀬活性化の起爆剤として期待され、地権者らで組織する高島屋南市街地再開発組合が進めてきました。今後は、金公園や柳ケ瀬商店街との回遊、Gテラスの活用により、新たなにぎわい創出に向けて動き出します。

4月30日には、ほとんどの商業テナントや市の施設がオープンすることを記念して「誕城祭（たんじょうさい）」と題し、様々なイベントが4月30日～5月7日にかけて開催されます。

テープカットで完成を祝う関係者

広場空間「Gテラス」

「グラッスル」は、長崎県在住の男性が考えた「GLASS（ガラス）」「GRASS（草、緑）」、「CASTLE（城）」を掛け合わせた造語。

長良川を連想させるガラス張りの壁や、自然豊かな岐阜をイメージさせる緑に加え、岐阜城のような街のシンボルになってほしいとの思いが込められています。

■関係者あいさつ

田宮雅雄 高島屋南市街地再開発組合 理事長
「柳ケ瀬ここにあり、と市民の皆様に再認識していただける姿は整った。これからが本番。見て、歩いて、楽しい柳ケ瀬に生まれ変わる必要がある。新たな未来が始まる」

柴橋正直 岐阜市長
「柳ケ瀬グラッスル35の竣工は、岐阜のまちが動いていく大きな象徴。旧長崎屋跡地の柳ケ瀬広場整備やJR岐阜駅北側の再開発など、オール岐阜でまちづくりを進めていく力になる」

村瀬幸雄 岐阜商工会議所会頭
「新たな"憧れの柳ケ瀬"へと変わっていくきっかけになる。柳ケ瀬が働く方、暮らす方、訪れる方にとって、魅力と活力あふれるエリアになることを期待している」

各種イベントに対応

セントラルパーク「金公園」

多くの家族連れでにぎわう金公園

岐阜市中心部の憩い・うるおい・にぎわいの空間として、セントラルパーク「金公園」がリニューアルオープンしました。

1ヘクタールの敷地に新たに約2，000平方メートル（テニスコート約10面分）の芝生広場が設けられ、子どもの遊び場や大人のくつろぎの空間となっています。

芝生広場の西側には、イベント開催時にステージになる「小高い空間」があり、音楽イベントやマルシェなどのイベントに対応できるよう、照明柱に電源コンセントを設置し、日陰をつくるタープやフラッグの取り付けも可能となっています。

園路には、イベント用のテントを固定する金具や、料理と洗い物に利用できるシンクが設置されています。

金公園のシンボルである「からくり時計」の起動式

完成式典では、柴橋正直 岐阜市長が「市民が多様な活動、表現の場として公園を活かしてほしい。多くの人が憩い、楽しんでもらう姿を想像するとわくわくする」とあいさつし、関係者とともにテープカットをして祝いました。

その後、ほんごう幼稚園の園児らによる滑り台の「すべり初め」や、リニューアルした「からくり時計の起動式」も行われました。

初日から多くの家族連れが訪れ、遊具を利用したり、キッチンカーの食事を楽しんでいました。

金公園のリニューアルオープンから一ヵ月間、人気のマルシェやダンスイベントの開催、移動式遊具の設置、キッチンカーの出店など、魅力的なイベントが数多く開催され、大勢の市民が訪れました。

3/5 出張！サンデービルヂングマーケット in 金公園

毎月第3日曜日に柳ケ瀬商店街で開催される、手づくりとこだわりの詰まったライフスタイルマーケット。雑貨やお菓子、野菜など約40店が出店。

3/16 waimokuマーケット＆キッチンカー出店

日々の暮らしを自分らしく、学び・楽しみ・遊ぶ、子どもも大人も心地いいマーケット。買い物だけでなく、生活に関するいろいろな物事を「知る」「体験する」ことがコンセプト。